

# だいこん

## 1 作型

月	5			6			7			8			9			10		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
作 型	夏どり栽培(高冷地) -----																	

月 旬	8			9			10			11			12			1		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
作 型	秋どり栽培 -----																	

：播種      ：収穫

### アピールポイント

- ・出荷時期：7月上旬～8月中旬、10月下旬～12月中旬。
- ・様々な品種があり、色、大きさ、辛み度合い、形など用途に合わせたり用が可能です。
- ・耐寒性が強い品種の利用により、冬期間までの収穫が可能となり、長期出荷が可能です。



## 各作型のポイント

### (1) 夏どり栽培

品種はおしん、献夏青首などを使用します。

夏どり栽培は、晩霜の心配のなくなった頃に播種を行い、55～60日程度で収穫期を迎える作型です。早まきすると低温感応してとう立ちが多くなり、遅まきすると軟腐病の発生が多くなるので注意します。



### (2) 秋どり栽培

品種はYRくらま、耐病総太りなど、漬物向けでは新八州、白秋など、直売向けには辛吉、紅化粧などが向いています。

夏まきでは、モザイク病や萎黄病に耐病性があり耐暑性に優れた品種を選ぶことが重要です。8月上中旬から播種を行い、70～90日(直売向け小型品種は、60日程度)で収穫を迎える作型です。



### (3) 各作型共通

ダイコンは、耕起や整地が不十分であると根の伸長・肥大が妨げられるので、十分に深耕するとともに、土塊や堆肥のかたまり等がないように耕します。

シーダーテープによる栽培では、播種作業および間引き作業の省力化が可能です。

点まきの場合は、間引きを行う必要があるため、本葉2～3枚時に2本立て、本葉5～6枚時に1本立ちにします。

間引き作業を行った後は、必ず土寄せを行い、根の曲がりを防ぎます。

輸送・貯蔵中の腐敗を防ぐために、土が乾いたときに収穫します。

